

会議の概要

令和4年度 第2回

おおたま学園コミュニティ・スクール委員会

兼 ○ 大山幼稚園学校運営協議会
○ 大山小学校学校運営協議会

日 時：令和4年6月24日（金）16:15～17:45

場 所：大山小学校 体育館

（進行：大山小教頭 高橋 秀幸）

1 開会のことば （おおま学園コミュニティ・スクール委員会副会長 吉田 都）

皆さんこんにちは。これより令和4年度大山小学校・大山幼稚園学校運営協議会並びに第2回コミュニティ・スクール委員会（以下CS委員会）を始めます。暑い中ですが、よろしくお願いいたします。

2 教育長あいさつ

（大玉村教育委員会教育長 渡辺 敏弘）

皆さん、お疲れさまです。まずは、大山幼稚園・大山小学校の教職員の皆さま、朝から保育公開そして午後の授業公開及び分科会等本当にお疲れさまでした。そして、CS委員の皆さまには平日の日中からの催しということで大変であったと思いますが、子どもたちの実際の姿を見ていただけたのは嬉しいかぎりです。

また、今日は大山幼稚園・大山小学校に特化した形の学校運営協議会です。年に1回ですが、課題や解決策等「こんなこともできるのではないか」という発想を出すことによって、結果的には大山幼稚園・大山小学校の学校（園）運営にいろんな知恵が生まれ、加えられるのではないかと思います。ぜひ、今日見ていただいた子どもたちの姿を思い浮かべながら、この後の協議を進めていただけたら素晴らしいことだと思います。協議のスタートでなかなか意見が出にくいこともあると思いますが、会のスタートからどんどん意見を出していただけて有意義な協議にしていきたいと思います。今日はよろしくお願いします。



3 おおたま学園CS委員会会長あいさつ

（CS委員会会長 伊藤 和弥）

皆さん、こんにちは。本日は朝から保育公開、午後の授業公開及び分科会等お疲れさまでした。また、CS委員の皆さんにはご参観いただきありがとうございます。ありがとうございました。

本日は、大山幼稚園・大山小学校に特化した学校運営協議会ということで、課題についてCS委員と先生方が一緒に協議し、何らかの方策が導き出されればよいと考えております。楽しく、提案

を出し合いながら熟議を進めていただきたいと思います。今日も 6 時近くまでの予定で会場も非常に暑いです。汗をかきながら皆で頑張りましょう。よろしくお願いします。

4 大山小学校・幼稚園出席者自己紹介

本日参加した大山幼・小の教職員が自己紹介を行った。



5 検討方法・課題の概要

(1) オリエンテーション

(大山小教頭)

協議の進め方についての説明(付箋に書き込み、それを使いながら熟議を進める)

- ① テーマについて、学校・園、保護者、地域が協力して大山の子どもたちを育むという視点をもとに、家庭、地域で、「それぞれができること・行いたいこと」を赤の付箋に、学校・園で「できること・行いたいこと」や「お願いしたいこと」を青の付箋に書き込む。
- ② 台紙に、記入内容に合わせて思考ツール「ピラミッドチャート」に整理しながら付箋を貼り付け、実現できそうな案(ピラミッドの一番上)を中心に話し合いを行う。
- ③ グループで話し合った内容をワールドカフェ形式で共有する。

(2) 本校・園の教育活動について及び本日のテーマについて (大山小校長 齋藤 和久)

(パワーポイントを使って説明)

本村の指導の重点を受けて『めざせ!夢に向かってがんばる子』～地域と共に、自らの夢に向かって努力し、未来を拓く子どもの育成～と、幼・小同じ教育目標を設定し、その具現化のために、重点目標・具体的な実践事項を設定して教育活動を実践している。

① 大山幼稚園の教育活動について

めざす幼児像は、ア『進んで遊ぶ子』、イ『なかよく遊ぶ子』、ウ『元気に遊ぶ子』であり、重点事項については、3歳児・4歳児・5歳児に分けて示している。

ア 自ら進んで意欲的に遊ぶ子の育成

“主体的に活動する力の育成”“考える力・表現する力の育成”を掲げて取り組んでいる。子どもたちの遊びの様子を見てみると、年少児は好きな遊びをしたり、年中児は年長児から刺激を受けて遊んでいる。年長児は、昨年度の経験を生かして、主体的にいろいろ工夫しながら遊びを通して多くのことを学んでいる。また、他にも読み聞かせ等様々な体験を通して考える力、表現する力を育成している。

イ 身近な人とかわろうとする子の育成

実践事項として“社会性を学んでいく場の設定”“豊かな体験活動の充実”を掲げて取り組んでいる。さつまいもの苗植えとか菊地農園でのさくらんぼ狩りとか1年生との交流会等の行事を通して、地域の方々やボランティアの方々、園児同士、小学生と関わりながら生き生きと活動している。

ウ 心も体も健康な子の育成

実践事項として“たくましい心と体を育てる”“健康で安全な生活をする力の育成”を掲げて取り組んでいる。園庭で運動したり、ふれあい広場をはじめ近隣を散歩したり、小学校の遊具で遊んだりと様々な体験を日々行っている。ふれあいデーでは、ゲームをしたり踊ったりと、多くの

ボランティアの方々に支援をいただきながら遊ぶことができた。現在も感染状況を見ながら、熱中症対策をとりながら、子どもたちは一生懸命に遊んだり活動したりしている。

② 大山小学校の教育活動について

めざす児童像は、ア『なかよく助け合う子』、イ『健やかでたくましい子』、ウ『進んで学習する子』である。昨年度の学校評価アンケートや学校関係者評価の結果をみると、大きく3つの課題が見えてきた。

- 他者との関わりが上手にできず、友だちとのトラブルを経験した子が多かったこと
- 規則正しく望ましい生活習慣が身についていない子がいたこと
- 学習の約束を守ったり、家庭学習を継続していたりすることが多かったこと

これらの課題を踏まえ、本年度の取組の重点を述べる。

ア 進んで『ひと・もの・こと』に関わりながら互いの人権を尊重する心を育てる

○ 心に寄り添う教育の充実

Q-Uテストを活用した学級経営、大山の子を育てる道徳教育の充実、人権を意識した情報モラル教育、いじめの未然防止・早期発見につなげるための「みんなが元気になるアンケート」の実施等に具体的に取り組んでいる。

○ SDG sを踏まえた体験活動・交流活動の充実

昨年度、子どもたちは落ち着かず、子どもたちとの関わり方や指導のあり方について本校の多くの職員が悩んできた。保護者の方々にも心配をかけてしまい、子どもたちのよりよい成長のために学校・家庭はどうあるべきかたくさん考えた。今年度は、心の教育を一番の重点として掲げ、村の関係機関、保護者や地域の方々のご協力を得ながら、できるだけ体験活動を実施し、行事等を通して子どもたち個々のよさを伸ばすことを教職員で共通理解を図って取り組んでいるところである。

また、子どもたちには“常に前向き”“しっかりした頑張り”を合い言葉にしてチャレンジすることを大事にしてほしいと機会ある毎に話し、教育目標である『めざせ！夢に向かってがんばる子』を意識させている。

イ 進んで『ひと・もの・こと』に関わりながら互いの人権を尊重する心を育てる

○ やり抜く心の育成

体力向上に向けて、体育の時間や学習カードを活用しながら目標を持たせて取り組ませている。業間時間には積極的に校庭で運動したり、遊んだりするよう推奨している。

○ 健康・安全教育の充実

家庭と連携した基本的生活習慣の形成、自転車の乗り方、地震・火災等具体的な場面に即した安全指導、新型コロナウイルスとの正しい向き合い方等に取り組んでいく。

ウ 自ら考えともに学び育つ子どもを育てる

○ 「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指した授業づくり

発問の工夫、協働的に課題解決に取り組む学習の場の設定、まとめと振り返りの場の充実などに具体的に取り組み、授業の充実を図っている。そして、学びに向かう力、自己マネジメント力



を身につけさせたいと考えている。

○ 学びを支える学習基盤づくり

家庭学習の手引きを活用した学習習慣の定着、ボランティアによる読み聞かせ等を通した“豊かな心を育む読書活動の推進”等具体的に取り組んでいる。様々な方向から子どもたちの基礎的・汎用的能力、非認知能力の育成を図っていく。

以上幼稚園・小学校の今年度の計画について話してきたが、本日はこれから各グループに分かれて、学校園で「できること・行いたいこと」や「お願いしたいこと」、家庭・地域で「それぞれができること・行いたいこと」や「それぞれにお願いしたいこと」等についてご協議いただければと思う。今後大山幼稚園・大山小学校が子どもたちのためにさらに素晴らしい学びの場となるようにご意見を頂戴したい。

6 話し合い、グループ別協議

各グループごとに進行 ⇒ ワールドカフェ形式による共有 (A → B → C)

- A-1、A-2、A-3 テーマ「自ら考え、ともに学び育つ子どもを育てるために（家庭学習、読書活動について）」＜学習＞
- B-1、B-2、B-3 テーマ「互いを尊重し、自己マネジメント力を高めるために」＜仲よく＞
- C-1、C-2、C-3 テーマ「望ましい生活習慣や食習慣を身に付けさせるために」＜健やか＞

7 グループ別協議の概要（まとめ）

（１）自ら考えともに学び育つ子どもを育てるために（家庭学習、読書活動について）」＜学習＞

□ 学習について (A-1、A-2、A-3)

- 学校、家庭の双方で、子どもが学ぶことの楽しさを実感できるようにする。
- ・ 自主学習を大切にする。（自主学習の発表会、自学コンテストの開催。ドリルだけでない学びの楽しさの発信）
- ・ 学習について家庭での会話を増やす。知的好奇心を高める工夫をする。
- ・ 子どもの頑張りをほめる。（可視化する→コメント etc.）
- 今学校で実践してることを継続する。

□ 読書活動の推進について

- 読書環境を整える。＜目で見えて分かる環境づくり＞ → 魅力的な学校図書館、図書コーナー
- 読書に関する講演会を開く。
- P T Aで読書推進委員会をつくり検討する。

（２）互いを尊重し、自己マネジメント力を高めるために＜仲よく＞（B-1、B-2、B-3）

□ なかよく助け合う

- 子どもが自分で決定する場をつくる。言葉かけを大切にする。
- 子どもの困りごとの把握と早い対応。学校と家庭が一緒になって子どもの言葉遣いの指導をする。
- 道徳の活用
 - ・ 過程をほめる。
 - ・ 教師や親が手本になる。
 - ・ 子ども同士の関わり方を指導する。



- 地域での遊び場づくり
- 人材活用（ボランティア、保護者等）

□ 「メディアコントロール月間」について

- 親子でメディアコントロールに取り組む。
 - ・子どもへの積極的な声かけ
 - ・メディアとのつき合い方の共有
 - ・メディアとの関わり方を親子で研修する。
- ・「メディアコントロール月間」の実施を「防災おおたま広報」等で地域に知らせる。
- ・メディアコントロールデーの成果や課題を地域に発信する。

□ 地域全体であいさつ運動をする。



（３）望ましい生活習慣や食習慣を身につけさせるために＜健やか＞（C-1、C-2、C-3）

□ 健康な体をつくるために

- 規則正しい生活習慣
 - ・早寝・早起き
- 食事の大切さ
 - ・バランスのとれたメニュー、朝食等のレシピ等を紹介
- 健康相談の実施。
- 親子で一緒に歯磨きに取り組む。
 - ・幼児には仕上げ磨きをしてあげる。
 - ・早期の虫歯の治療が大事である。
 - ・PTAで研修会を開いて学ぶ機会をつくる。（専門家の講話等の開催）



□ 体力向上のために

- 学校での運動
 - ・低学年から様々な運動の基礎を丁寧にしっかりと身につけさせる。
 - ・体幹を鍛える運動
 - ・体育委員会が企画する運動タイムの実施。
- 親子で一緒に活動・運動する機会を増やす。

8 講 評

（ C S 委員会会長 ）

皆さん、暑い中本当にお疲れさまでした。

今日C S委員の皆さんと先生方が協議をしている姿を拝見し、日頃から熱心に教育について考え、よりよくしていこうと努力している姿に感心させられました。また、熟議の中で出てきたものの中でも特に「自己マネジメント力」「自主学習」というキーワードがありましたが、大玉の教育らしくてとても嬉しい気持ちになりました。ちなみに、私たちのグループでは、「今の学校の取り組みを継続していけばよい」という結論になりました

今後、私たちC S委員も学校と一緒に頑張って取り組んでいきたいと思いますので、これからもご協力の程よろしく願います。本日はどうもありがとうございました。

9 御礼のことば・今後に向けて

(大山小学校長)

皆さま、今日は遅い時間まで熱心に協議をしていただきありがとうございました。

熟議の中で、様々な工夫やアイデアをたくさんいただきました。今後の取組の参考にさせていただきたいと思います。このCSでは学校のほとんどの先生方が、「もっとちゃんとしないといけない」と言われると思っていたわけですが、実際にはそうではありませんでした。皆さんの頭の中に思い描かれているのは、「子どもたちが嬉しそうに取り組むためには、教師・子ども・地域住民がどのように考え行動していったらいいか」であり、そんなことをイメージしながら熟議がなされていたように思います。「CS委員は学校の応援団」とおっしゃっていただき、今日の会議はとても有意義であったと感じました。お言葉に甘えて、今後学校でお願いしたいことがあれば、遠慮なくお話しさせていただきたいと思います。本日はどうもありがとうございました。

10 閉会のことば

(CS委員会副会長 館下 愛理)

皆さん、長い時間お疲れ様でした。これで令和4年度大山幼稚園・大山小学校運営協議会を終わります。ありがとうございました。

